

科目名	ファッション造形	学年	3年	使用教材	【教科書】ファッション造形 実教出版
		必修・選必・	テクニカルコース必		【副教材】
		単位数	9単位		
<b>学習目標</b> 被服構成の基礎、構成技法、被服材料の特徴などに関する知識と技術を習得させ、被服を創造的に製作する能力と態度を育てる。					
<b>学習方法</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践的・体験的な学習活動を通して、家庭や地域の被服製作の歴史や文化を科学的・総合的にとらえていくように努める。</li> <li>○ 実際の生活に生かせるよう、学んだことを自分自身の問題ととらえ、被服製作の知識・技術をよりよくするための工夫を考え、実践する。</li> <li>○ 授業で活用するワークシートを上手に活用して、学習が確実に自分のものとなるよう、より深い理解をめざして取り組む。</li> </ul>					
<b>学習評価</b> ○次の4つ観点に基づき、学習内容のまとまりごとに評価を行い、学年末に5段階の評定に総括する。					
①関心・意欲・態度		被服製作について関心をもち、自分の技術の改善・向上を目指して意欲的に取り組むとともに、自主的創造的、実践的な態度を身に付けている。			
②思考・判断		被服製作について自ら思考を深め、基礎的、基本的な知識と技術を活用して適切に判断し、創意工夫する能力を身に付けている。			
③技能・表現		被服製作に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、実習を合理的に計画し、適切に製作を進めるとともに、作品によって自己表現できる技能を身に付ける。			
④知識・理解		被服製作に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、ファッション産業における製作者、ファッションの提案者としての役割を理解している。			
○学習の過程で自己評価を実施しますので、自らの学習状況をチェックし、目標達成に努めましょう。					

学期	学習内容	学習のねらい	学習活動【評価方法】
1 学期	1 被服製作オリエンテーション 2 セミフォーマルワンピース+ジャケット ・セミフォーマルの定義 ・ワンピース丈・ジャケットの名称、 ・デザイン画作成。 ・素材選び。 3 セミフォーマルワンピース+ジャケットの製作 ① デザイン画作製 ② パターン作成 ③ シーチング作製と仮縫い ④ 職業用ミシンでの縫製 ・身頃 ・袖 ・衿 ・見返し ・ファスナー ・裾 ・仕上げ ・試着	被服製作の目的をよく理解し、知識や技術を身につける。 ジャケットの種類や歴史的変遷を理解する。 自分の描いたデザイン画からパターンを引き、立体構成する能力を身につける。 セミフォーマルに適する素材について学習する。 部分縫い:2年で学んだ学習内容を深める。 ・コンシールファスナー ・パッチポケット ・玉縁ポケット	・教科書 ・資料プリント ・視聴覚教材 ・部分縫い資料 (見頃、衿、袖) ・パターン資料 ・素材標本 (布地見本) 【授業態度】 【宿題・提出物】 【自己評価】
2 学期	4 フォーマルドレスの作成 ・素材選び ・デザイン画作製 ①地直し ②パターン作成 ③裁断 ④芯はり ⑤仮縫い (補正) ・サイズ調整 ・ボリューム調整 (スカート) 5 本縫い ・身頃作り (ビスチェ型) ・スカート部分の縫製	自分の描いたデザイン画からパターンを引き、立体構成する能力を身につける。 サテンやオガゾン、シフォン等の上質資材や薄地の取り扱いについて学習する。 ビスチェタイプのパターンメイキング。 TPOに応じたフォーマルウェアのドレスコードを理解させる。	・教科書 ・資料プリント ・視聴覚教材 ・部分縫い資料 (衿、袖) ・パターン資料 【授業態度】 【宿題・提出物】 【自己評価】
3 学期	6 付属品の制作 ・ボレロやショール、パニエ等の付属品の作成。 7 着装・プレゼンテーション 8 卒業作品発表会に向けての準備	自己のデザインしたドレスをいかにコーディネートして着装するかを学習する。 ファッションショーを通して、思い描いた作品に仕上がったか確認する。	・教科書 ・資料プリント ・視聴覚教材 ・部分縫い資料 (衿、袖) ・パターン資料 【授業態度】 【宿題・提出物】 【自己評価】